



## 第67回（2025年10-12月期Ⅳ）景況調査

### 特別調査報告書 —業種別事業動向、生産性、冬の賞与・賃上げ、新規採用 に関する調査—

2026(令和8)年1月30日(金)  
宮崎県中小企業家同友会  
分析:小山大介(京都橘大学)

## 調査要領及び回答企業の基本属性

### ■調査要領

1. 調査期間 2025年10-12月期(Ⅳ)
2. 調査対象企業 宮崎県中小企業家同友会会員企業
3. 調査方法 e-doyu 自計記入
4. 回答企業数 調査対象企業435社、回答企業数144社(回答率33.1%)

### ■回答企業の基本属性

1. 業種別構成 建設業33社、製造業23社、情報・流通・商業28社、サービス業60社、その他0社
2. 正規従業者規模別の内訳  
4人以下56社、5～9人37社、10～19人31社、20人以上20社
3. 平均従業者数 役員を含む正規従業者数12.88人  
パート・アルバイト数5.96人  
総従業者数18.84人
4. 支部別構成  
県北支部16社、宮崎北支部39社、宮崎南支部21社、きりしま支部55社、ひむか支部13社
5. 地域別構成  
県北16社、宮崎市及其周辺の74社、きりしま55社

## 特2-1 1人あたり売上高①

2023年10-12月期調査



2024年10-12月期調査



2025年10-12月期調査

特2-1-1 貴社の1人あたり売上高(2022年10-12月比較)

	回答数	%
増加	62	38.5
横ばい	63	39.1
減少	36	22.4
合計	161	100.0
DI	16.1	

注:未回答は除く。

特2-1-1 貴社の1人あたり売上高(2023年10-12月比較)

	回答数	%
増加	73	40.6
横ばい	76	42.2
減少	31	17.2
合計	180	100.0
DI	23.4	

注:未回答は除く。

特2-1-1 貴社の1人あたり売上高(2024年10-12月比較)

	回答数	%
増加	41	29.1
横ばい	60	42.6
減少	41	28.4
合計	141	100.0
DI	0.7	

注:未回答は除く。

1人あたり売上高伸びの「頭打ち感」が見られる。  
 前回調査に比べ「大幅な悪化」で「水面」が目前に迫っている。  
 付加価値向上に向けた取り組みは、道半ばといえる。

## 特2-1 1人あたり付加価値①

付加価値 = 売上高 - 原材料費

2023年10-12月期調査



2024年10-12月期調査



2025年10-12月期調査

特2-2-1 貴社の1人あたり付加価値(2022年10-12月比較)

	回答数	%
増加	59	35.5
横ばい	73	44.0
減少	34	20.5
合計	166	100.0
DI	15.0	

注:未回答は除く。

特2-2-1 貴社の1人あたり付加価値(2023年10-12月比較)

	回答数	%
増加	61	33.9
横ばい	81	45.0
減少	38	21.1
合計	180	100.0
DI	12.8	

注:未回答は除く。

特2-2-1 貴社の1人あたり付加価値(2024年10-12月比較)

	回答数	%
増加	34	24.8
横ばい	62	45.3
減少	41	29.9
合計	137	100.0
DI	-5.1	

注:未回答は除く。

1人あたり付加価値では、「減少」との回答が「増加」より多くなっているが、  
 「横ばい」との回答多い。売上減にくわえ価格転嫁が難しい状況を示している。

## 特3-1 仕入単価の動向①

特3 貴社の10-12月の仕入単価、販売単価・客単価(前年同期比)

	22年Ⅳ	23年Ⅰ	23年Ⅳ	24年Ⅰ	24年Ⅳ	25年Ⅰ	25年Ⅳ	26年Ⅰ
仕入単価	63.2	59.6	60.3	44.0	62.9	60.3	61.5	51.4
販売単価・客単価	34.7	27.7	33.4	20.0	38.6	29.2	25.2	23.8

この数年間における「仕入単価」の上昇を顕著に示している。対照的に「販売単価・客単価」の伸び悩みが目立つ。

価格転嫁十分進まず

特3-1-1 貴社の10-12月の仕入単価と次期見通し(前年同期比)

	今期(10-12月)		次期(1-3月)見通し	
	回答数	%	回答数	%
上昇	89	65.9	75	55.1
横ばい	40	29.6	56	41.2
下降	6	4.4	5	3.7
合計	135	100.0	136	100.0
DI	61.5		51.4	

注:未回答は除く。

特3-1-2-① 業種別の10-12月の仕入単価と次期見通し(前年同期比)

	22年Ⅳ	23年Ⅰ	23年Ⅳ	24年Ⅰ	24年Ⅳ	25年Ⅰ	25年Ⅳ	26年Ⅰ
全体	63.2	59.6	60.3	44.0	62.9	60.3	61.5	51.4
建設業	94.4	89.2	66.7	33.3	84.2	42.2	77.4	61.3
製造業	77.7	66.6	69.3	51.9	64.5	64.5	73.9	56.6
情報・流通・商業	38.2	33.3	51.1	37.2	55.6	57.8	44.5	34.6
サービス業	53.6	54.5	58.7	52.5	54.1	53.3	55.5	51.8

注:未回答は除く。

## 特3-② 販売単価・客単価の動向①

特3-2-1 貴社の10-12月の販売単価・客単価と次期見通し(前年同期比)

	今期(10-12月)		次期(1-3月)見通し	
	回答数	%	回答数	%
上昇	50	36.0	44	31.7
横ばい	74	53.2	84	60.4
下降	15	10.8	11	7.9
合計	139	100.0	139	100.0
DI	25.2		23.8	

注:未回答は除く。

建設業では単価上昇が一定進んでいるが、製造業、情報・流通・商業では、「ほぼ進んでいない」状況が明らかとなっている。

特3-2-2-① 業種別の10-12月の販売単価・客単価と次期見通し(前年同期比)

	22年Ⅳ	23年Ⅰ	23年Ⅳ	24年Ⅰ	24年Ⅳ	25年Ⅰ	25年Ⅳ	26年Ⅰ
全体	34.7	27.7	33.4	20.0	38.6	29.2	25.2	23.8
建設業	62.2	64.9	44.7	30.8	60.6	40.5	56.3	46.9
製造業	27.8	5.5	29.6	7.4	32.2	16.1	9.1	9.1
情報・流通・商業	13.2	8.1	11.6	0.0	33.3	28.9	3.5	10.7
サービス業	33.3	23.2	43.4	32.8	32.3	29.2	24.6	22.8

注:未回答は除く。

特3-2-2-② 業種別の10-12月の販売単価・客単価と次期見通し(前年同期比)の詳細

	2024年10-12月の販売単価・客単価									
	全体		建設業		製造業		情報・流通・商業		サービス業	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
上昇	50	36.0	19	59.4	5	22.7	6	21.4	20	35.1
横ばい	74	53.2	12	37.5	14	63.6	17	60.7	31	54.4
下降	15	10.8	1	3.1	3	13.6	5	17.9	6	10.5
合計	139	100.0	32	100.0	22	100.0	28	100.0	57	100.0
DI	25.2		56.3		9.1		3.5		24.9	

次期見通し(2025年1-3月)

	次期見通し(2025年1-3月)									
	全体		建設業		製造業		情報・流通・商業		サービス業	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
上昇	44	31.7	16	50.0	4	18.2	6	21.4	18	31.6
横ばい	84	60.4	15	46.9	16	72.7	19	67.9	34	59.6
下降	11	7.9	1	3.1	2	9.1	3	10.7	5	8.8
合計	139	100.0	32	100.0	22	100.0	28	100.0	57	100.0
DI	23.8		46.9		9.1		10.7		22.8	

注:未回答は除く。

## 特5 賃上げについて

### 特5-1 賃上げの実施状況①

2023年10-12月期調査



2024年10-12月期調査



2025年10-12月期調査

#### 5-1-1 貴社の賃上げ状況(見通し)

	回答数	%
賃上げ実施を決定(予定)している	71	41.0
検討中である	57	32.9
2024年度は据え置きを決定(予定)している	20	11.6
賃金の圧縮を考えている	12	6.7
その他	13	7.5
合計	173	100.0

#### 5-1-1 貴社の賃上げ状況(見通し)

	回答数	%
賃上げ実施を決定(予定)している	80	42.1
検討中である	60	33.2
2025年度は据え置きを決定(予定)している	26	13.7
賃金の圧縮を考えている	4	2.1
その他	17	8.9
合計	190	100.0

#### 5-1-1 貴社の賃上げ状況(見通し)【2025年10-12月期】

	回答数	%
賃上げ実施を決定(予定)している	63	43.8
検討中である	46	31.9
2025年度は据え置きを決定(予定)している	18	12.5
賃金の圧縮を考えている	3	2.1
その他	14	9.7
合計	144	100.0

全体を通して、最低賃金の引き上げ、人手不足もあり、賃上げマインドは高い。

### 特5-2 賃上げの方法①

#### (賃上げ実施(予定)企業のみ)

2023年10-12月期調査



2024年10-12月期調査



2025年10-12月期調査

#### 5-2-1 貴社の賃上げの方法(賃上げ実施(予定)企業のみ)

	回答数	%
定期昇給とベースアップ	28	39.4
定期昇給のみ	27	38.0
ベースアップのみ	13	18.3
その他	3	4.2
合計	71	100.0

注:有効回答のみ集計。

#### 5-2-1 貴社の賃上げの方法(賃上げ実施(予定)企業のみ)

	回答数	%
定期昇給とベースアップ	34	42.5
定期昇給のみ	32	40.0
ベースアップのみ	11	13.8
その他	3	3.8
合計	80	100.0

注:有効回答のみ集計。

#### 5-2-1 貴社の賃上げの方法(賃上げ実施(予定)企業のみ)

	回答数	%
定期昇給とベースアップ	31	49.2
定期昇給のみ	19	30.2
ベースアップのみ	13	20.6
その他	0	0.0
合計	63	100.0

注:有効回答のみ集計。

「ベースアップ」と「定期昇給」による賃上げは、すでに定着している。継続的かつ着実に上昇している。

## 特5-3 賃上げ率①

(賃上げ実施(予定)企業のみ)

2023年10-12月期調査



2024年10-12月期調査



2025年10-12月期調査

5-3-1 全体としての賃上げ率(賃上げ実施(予定)企業のみ)

	回答数	%
1%未満	6	8.5
1%以上2%未満	18	25.4
2%以上3%未満	23	32.4
3%以上4%未満	8	11.3
4%以上5%未満	3	4.2
5%以上	11	15.5
その他	2	2.8
合計	71	100.0

注:有効回答のみ集計。

5-3-1 全体としての賃上げ率(賃上げ実施(予定)企業のみ)

	回答数	%
1%未満	2	2.5
1%以上2%未満	16	20.0
2%以上3%未満	17	21.3
3%以上4%未満	19	23.8
4%以上5%未満	9	11.3
5%以上	13	16.3
その他	4	5.0
合計	80	100.0

注:有効回答のみ集計。

5-3-1 全体としての賃上げ率(賃上げ実施(予定)企業のみ)

	回答数	%
1%未満	3	4.8
1%以上2%未満	11	17.5
2%以上3%未満	22	34.9
3%以上4%未満	9	14.3
4%以上5%未満	8	12.7
5%以上	7	11.1
その他	3	4.8
合計	63	100.0

注:有効回答のみ集計。

物価上昇率に連動、あるいはそれ以上の賃上げを実施している企業が多く存在している。「4~5%」、「5%以上」の回答も引き続き多くなっている。

## 特6 賃上げについて悩んでいる、また賃上げが難しい理由(複数回答)

### 価格転嫁の難しさも 情勢悪化懸念

5-4-1 賃上げに悩んでいる、賃上げが難しい理由(複数回答)

	回答数	%
業績の不振・低迷	26	38.8
原材料・仕入価格の高騰	24	35.8
先行きが不透明なため	18	26.9
会社としての税・社会保険料負担増のため	14	20.9
前期に賃上げを行ったため	11	16.4
賃上げよりも雇用維持を優先	5	7.5
賃上げより採用(人員増)を優先	7	10.4
賃上げ分を販売価格に転嫁できない	15	22.4
技術開発・設備投資等を優先	3	4.5
同業他社の賃上げ動向に同調	0	0.0
その他	9	13.4
合計	67	100.0

注:有効回答のみ記載。

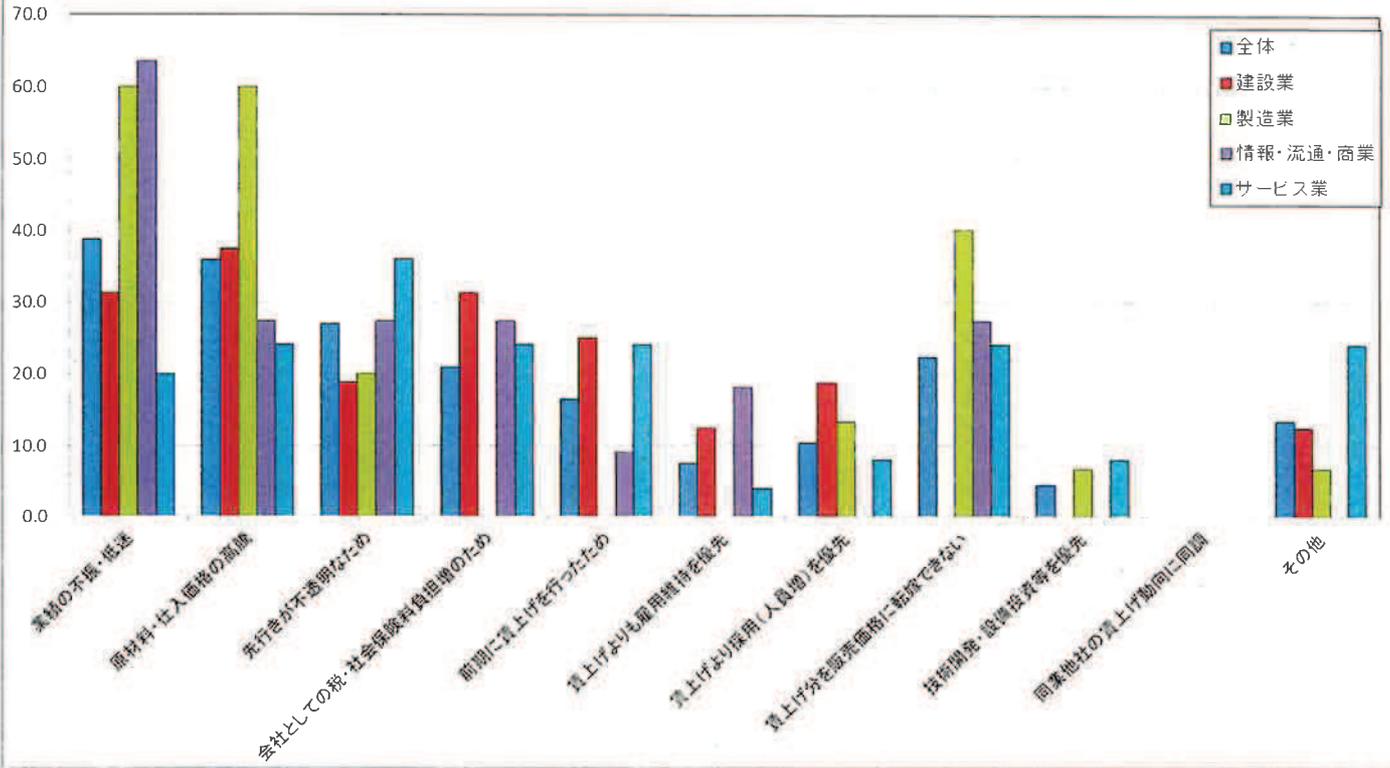
「業績の不振・低迷」(38.8%)、「原材料・仕入価格の高騰」(35.8%)、「先行きが不透明なため」(26.9%)、「賃金分を販売価格に転嫁できない」(22.4%)、「会社としての税・社会保険料負担増のため」(20.9%)との回答が上位を占めた。  
物価高、景気後退懸念などによって、賃上げに踏み切ることができない状況が示されている。

5-4-2-① 業種別に見た賃上げに悩んでいる、賃上げが難しい理由(複数回答)

	全体		建設業		製造業		情報・流通・商業		サービス業	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
業績の不振・低迷	26	38.8	5	31.3	9	60.0	7	63.6	5	20.0
原材料・仕入価格の高騰	24	35.8	6	37.5	9	60.0	3	27.3	6	24.0
先行きが不透明なため	18	26.9	3	18.8	3	20.0	3	27.3	9	36.0
会社としての税・社会保険料負担増のため	14	20.9	5	31.3	0	0.0	3	27.3	6	24.0
前期に賃上げを行ったため	11	16.4	4	25.0	0	0.0	1	9.1	6	24.0
賃上げよりも雇用維持を優先	5	7.5	2	12.5	0	0.0	2	18.2	1	4.0
賃上げより採用(人員増)を優先	7	10.4	3	18.8	2	13.3	0	0.0	2	8.0
賃上げ分を販売価格に転嫁できない	15	22.4	0	0.0	6	40.0	3	27.3	6	24.0
技術開発・設備投資等を優先	3	4.5	0	0.0	1	6.7	0	0.0	2	8.0
同業他社の賃上げ動向に同調	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	9	13.4	2	12.5	1	6.7	0	0.0	6	24.0
合計	67	100.0	16	100.0	15	100.0	11	100.0	25	100.0

注:有効回答のみ記載。

5-4-2-②業種別に見た賃上げに悩んでいる、賃上げが難しい理由(複数回答)



【参考①】金融の状況について①

3-1 現在の資金繰りの状況

	回答数	%
1. 余裕あり	6	4.2
2. やや余裕あり	21	14.6
3. 順調	37	25.7
4. やや窮屈	57	39.6
5. 窮屈	19	13.2
6. 不明	4	2.8
合計	144	100.0
DI値		-34.0

2024年10-12月期の金融（資金繰り）の状況では「順調」（25.7%）、「やや窮屈」（39.6%）、「窮屈」（13.2%）となり、全体を通して「窮屈」という状態となっている。  
製造業、情報・流通・商業で「窮屈感」が急激に高まっている。

3-2 業種別の現在の資金繰りの状況

	全体		建設業		製造業		情報・流通・商業		サービス業	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1. 余裕あり	6	4.2	1	3.1	2	9.1	1	3.7	2	3.4
2. やや余裕あり	21	14.6	6	18.8	1	4.5	5	18.5	9	15.3
3. 順調	37	25.7	10	3.3	5	22.7	4	14.8	18	30.5
4. やや窮屈	57	39.6	15	46.9	9	40.9	11	40.7	22	37.3
5. 窮屈	19	13.2	0	0.0	5	22.7	6	22.2	8	13.6
合計	144	100.0	32	100.0	22	100.0	27	100.0	59	
DI値		-34.0		-25.0		-50.0		-40.7		-32.2

注：不明は除く。